



ジャンケン列車を楽しむ藤吉小と韓国の子供たち

子供たちの友情、国境を越えて

柳川と韓国の小学生が交流

韓国釜山市の東萊初等学校^{とんね}6年生110人と教職員など26人が、修学旅行で6月4日から6日まで本市を訪れました。同校と相互訪問などで交流を続けるサンブリッジ国際交流協会(竹井清理事長)が招いたものです。

韓国から来た子供たちは、柳川市などの家庭でホームステイ。4日は三橋公民館で歓迎会が行われ、6日は藤吉小学校や城内小学校、柳河小学校にそれぞれ分かれて訪問し交流を深めました。藤吉小学校では、両校から歓迎の出し物があり、ジャンケン列車や仲間作りなどのゲームで楽しく交流しました。

暑さも忘れて大はしゃぎ

有明小学校でプール開き

夏本番を前に、市内の各小学校でプール開きが行われました。

有明小学校(宮地助弘校長)でも6月3日、盛夏を思わせる日差しの中プール開きが行われ、1年から6年生までの全校児童67人が一緒に水泳の授業を受けました。5、6年生が、自由形や平泳ぎ、バタフライなどお手本を披露。その後1年生と6年生、2年生と5年生がペアとなってプールに入り、同じ方向に回りながら泳ぎを楽しみ練習しました。同小学校ではこの日から9月まで毎日、水泳の授業が行われます。



全校児童と一緒に水しぶきをあげた

真っすぐ、しっかり育てね

蒲池小学校の子供たちがイ草の網かけ

蒲池小学校(姉川圭介校長)の6年生71人が6月2日、学校近くの実習田で、イ草の網かけ作業を体験しました。同校では、地域の伝統的農作業を通じて自然や地域の人たちと交流を深めるとともに、栽培の難しさ、収穫の喜びなどを体験させようと毎年、イ草栽培に取り組んでいます。網かけは、イ草が倒れるのを防ぎ、風通しをよくすることで、病気などを予防するための作業です。子供たちは田の周囲に、くいを等間隔に打ち込んだあと、幅約2mの長網をイ草にかぶせ、くいに結びつけていきました。



イ草は子供たちの手でござや座布団などになります

3万本のユリがお出迎え

グランドワーク遊園農園の「柳川ゆり祭り」

両開大浜町(明治開)のグランドワーク遊園農園で開かれている「柳川ゆり祭り」では、赤や黄色、白、ピンクなどのスカシユリ3万本が約20アールの畑に咲きそろいました。今年は女性に人気のある桜色の花が咲くアプリコット種も植えられ、上品なゆり園を演出。ほかに、ゴデチャやショウブ、ナデシコなどの花々も咲き、テントでは玉ねぎやトマトなどの農産物や弁当、ジャムなどの加工品も売られ、多くの人買い求めていました。



ゆり祭りは今月25日まで開かれています



素早いドリブルで敵陣に攻め込む地元キャスルチームの選手

バスケットボールをエンジョイしよう

ドリームズ・カップ~新「柳川市」誕生記念

市体育協会大和支部バスケットボール部主催の「ドリームズ・カップ~新『柳川市』誕生記念」が5月29日、大和中学校体育館で開かれました。柳川、大牟田、久留米、小郡の4市から男子6チーム、女子5チームが出場。実力伯仲の接戦が目立ち、17歳から30歳代後半まで幅広い年齢層の選手たちが気迫のこもったプレーを繰り広げました。

柳川市のチームは、男子でセルフフィッシュチームが優勝、キャスルチームが準優勝。女子ではドリームチームが準優勝に輝きました。

市民のひろば



どんこ舟の上からも声援が送られた

どんこ舟水上レースに挑戦

県内21青年会議所会員の福岡ブロック大会

県内の21青年会議所が一堂に会する、第33回福岡ブロック大会が6月5日、本市で開かれました。

メイン事業は、かんぼの宿裏の掘割で開かれた「どんこ舟水上レース」。各会議所の選手9人がどんこ舟に乗り込み、80m先のゴールを目指してタイムを競いました。真っすぐ進まずくるくる回るチームや、選手が舟から落ちてしまうなどアクシデント続出。ユニークなプレーや速いタイムが出ると、大きな拍手が沸き起こっていました。

本番さながらの緊迫した訓練

市防災訓練・水防演習

梅雨を前に、水防技術の向上や関係機関の連絡体制を確かなものとするため、5月29日、市や消防本部職員、消防団員約500人が参加して市防災訓練・水防演習が行われました。災害対策本部が柳川庁舎に設置され、水防演習がかんぼの宿東側の市有地、大和B&Gグラウンドなどで行われました。

三橋グラウンドでは、第15分団から第20分団の消防団員が参加。堤防から水が越えたり漏れたりしたときに土のうを積み上げる「積み土のう工法」や「月の輪工法」などが実践され、本番さながらの訓練となりました。



三橋グラウンドで土のうを積み上げる消防団員